



空きキャパシティの利活用

都市経営学部都市経営学科 准教授 根本 修平

キーワード

空きキャパシティ利活用、ビジョン策定、小さな拠点、公共的

該当するSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 研究内容

空き家や廃校などの空き公共施設のほか、歩道や公園といった未利用空間の利活用について研究しています。対象の現況を把握し、その地域の「これから」と対照して利活用について検討します。多くの場合は、「公共的」な利活用が志向されるため、地域や行政の方々との対話（コミュニティ形成）を通してビジョンを模索し、この過程の中で具体的に利活用するための運用方法なども合わせて検討します。一連の過程を論文などにまとめて社会に還元していますが、実際に場所を形成するなど、具体的に利活用することを目標として取り組んでいます。



塩家(空き家の利活用)2017



きららの楽校(白男川小学校跡利活用プロジェクト)2018



道の駅舞ロード IC
千代田トイレ改装 2018



まちよーる(歩道空間利活用、
木質交流スペース)2022

2 連携可能性のある研究分野, 又は, これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

・地域の将来を考える分野のほか、福祉的な視点で生活を考える分野などと連携できます。

これまでの連携実績

- 1) いっでんだいでん来やん家、2016年、鹿児島県・民間事業者と連携、鹿児島県南大隅町の多世代交流・多機能型支援の拠点の整備
- 2) 塩家、2017年、民間事業者と連携、鹿児島県南九州市で地域の住人と共同で取り組んだ空き家の利活用
- 3) きららの楽校(白男川小学校跡利活用プロジェクト)、2018年、さつま町・地区住民と連携、閉校した小学校について地区と利活用を協議し、住民参加ワークショップを実施して小さな拠点を整備
- 4) 道の駅舞ロード IC 千代田トイレ改装、2018年、広島県・北広島町・地域住民と連携、道の駅に付属する公衆トイレの改装を調査とWSを通して整備
- 5) まちよーる、2022年、民間事業者・福山市と連携、社会実験オープンストリートフクヤマの成果をもとに歩道内に公共的な木質交流スペースを整備

問合せ先 福山市立大学事務局総務課

TEL:084-999-1112 FAX:084-928-1248 MAIL:soumu@fcu.ac.jp